

SOC380 地域文化マネジメント

3年 3,4クォーター

担当教員 東村 純子・朝倉 由希

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 該当しない

単位数 2

曜日・時限 金曜日・3時限

授業概要

地域社会のなかで形成された歴史文化を学び、実践・運営していく理論と技術、地域文化の創造と継承について理解を深める。地域の歴史文化や遺産について調査分析を行い、その活用方法について学修を進めるなかで、歴史文化と社会・自然環境との関係、企業・行政などの実務者と、地域住民とのより良い関係づくり、地域文化マネジメントの具体的な方策について現状の課題を提起し、その解決に向けて実践的に取り組む。

到達目標

歴史文化を活用したまちづくりやミュージアム・マネジメントの諸相について実践的に学び、国際的な視野から地域の文化保全と継承について理解を深める。

先修科目

考古学入門(共通教養科目)、文化資源論

教科書・参考資料等

《参考書》石川徹也・根本彰・吉見俊哉『つながる図書館・博物館・文書館』 東京大学出版会

授業の方法

担当教員は講義を行い、定期的に課題を与える。適宜、少人数グループでのディスカッションを行い、双方向性を意識する。実地見学も適宜実施する。

成績評価

学生は、講義での課題について小レポートにまとめ、提出する。また、グループ・ディスカッションを積極的に行う。

成績

30% 定期の小レポート

20% 授業中のディスカッションの状況

50% 期末試験

授業スケジュール

第1回：地域文化の構成要素

地域文化をとりまく、文化財や文化遺産などの文化資源の定義を紹介し、その構成要素を確認する。

第2回：地域文化論の現状（1）海外

海外における地域文化マネジメントの現状について概説する。

第3回：地域文化論の現状（2）日本

国内における地域文化マネジメントの現状について概説する。

第4回：自然環境と地域文化

地域文化をとりまく自然環境を紹介し、環境と文化保全との関連性を明らかにする。

第5回：歴史的景観と地域文化

地域文化を形成する歴史的景観を紹介し、景観と文化保全との関連性を明らかにする。

第6回：伝統産業と地域文化

地域の伝統産業を概観し、技術継承と文化の再生産について検討する。

第7回：ミュージアム・マネジメント（1）文化活動の諸相

地域の博物館を拠点とした文化活動の諸相を概観する。

第8回：ミュージアム・マネジメント（2）生涯学習の視点

生涯学習の視点から地域の博物館の運営について考える。

第9回：ミュージアム・マネジメント（3）学校と地域の連携

学校連携・地域連携の視点から博物館の運営について考える。

第10回：歴史文化とまちづくり（1）考古遺産

歴史文化を形成する考古遺産を活用したまちづくりについて事例を挙げ、考察する。

第11回：歴史文化とまちづくり（2）織物産業

織物産業の歴史に根ざしたまちづくりについて事例を挙げ、考察する。

第12回：歴史文化とまちづくり（3）観光資源

歴史文化資源と観光開発について事例を挙げ、考察する。

第13回：地域文化の継承と国際化（1）日本

国際化が進む現代社会における地域文化の継承とその課題を明らかにする。

第14回：地域文化の継承と国際化（2）海外

国際化が進む現代社会における地域文化の継承とその課題を明らかにする。

第15回：まとめ

これまでの内容をまとめ、国際的視野に立ちつつ地域の文化保全と社会の持続的発展に向けた文化継承の意義を考える。

事前・事後学習

- ① 上記に挙げた参考書を通読すること。授業中に予習用の資料を配布するので、事前の一読すること（1時間程度）。
- ② 講義内容を配布資料とともに復習し、理解を深めること。博物館等を見学した際やその他、授業中に指示する課題についてレポートをまとめること（1～2時間程度）。